

論文内容の要旨

専攻名	多文化社会学 専攻	氏名	劉 召蛟龍
題名	記号的の鬼畜動画分析——Bilibili 動画サイトを例に		
<p>論文内容の要旨</p> <p>インターネットの登場とメディア技術の急速な発展に伴い、ユーザー生成コンテンツ（UGC）は現代のネットワーク環境で顕著な傾向となっています。UGC の重要な部分である鬼畜動画は、新興のネットサブカルチャーとして、BILIBILI 動画サイトで多くの若者に愛されています。この文化現象の台頭は、技術進歩の産物であると同時に、ネットユーザーの創造性と文化表現の新篇章です。鬼畜動画の出現は、主流社会に認知される過程で、避けられないサブカルチャーと主流文化間の相互作用と衝突を引き起こしています。鬼畜動画を主流文化により良く融合させ、潜在的な文化衝突を避けるためには、その本質と伝播メカニズムを深く理解する必要があります。この点で、記号学理論は強力な分析ツールを提供し、鬼畜動画の内在的な論理と文化的意義をより深く理解するのに役立ちます。</p> <p>本稿では、BILIBILI 動画サイト上の鬼畜動画を研究対象とし、記号学の分析方法を用いて鬼畜動画の普遍的原則と特有の特性を探求します。第一章は鬼畜動画の核心特徴に焦点を当て、独特のスタイルと表現形式を詳細に認識定位します。第二章では鬼畜動画の構成要素を深く探り、人物、音響、文字符号がどのように統一された表現体系を形成するかを明らかにします。第三章では、Saussure の連合と組合理論を借りて、鬼畜動画の構造の縦横関係を分析し、人物と筋展開のパロディー（Paradigmatic）と画像と音声の創造的なコラージュ（Syntagmatic）による独特の表現形式を解析します。第四章では、Metz の映画記号学理論を基に、視聴者が「想像される記号」として鬼畜動画をどのように解釈し、それによって豊かな意味付け方法を理解するかを深掘りします。第五章では、鬼畜動画の内容伝播と意味の変遷に焦点を当て、特に弾幕メカニズムが鬼畜動画に持続的な活力と革新的な動力を注入する方法を議論します。最後に、第六章では、鬼畜動画が現代社会でもたらし可能性のあるリスクと課題を反省し、この文化現象をよりよく理解し導く方法を探求し、その積極的な社会統合を促進することを模索します。</p>			

論文内容の要旨

専攻名	多文化社会学 専攻	氏名	劉 召蛟龍
題名	記号的の鬼畜動画分析——Bilibili 動画サイトを例に		
論文内容の要旨			
<p>随着互联网的兴起和媒体技术的快速发展，用户生成内容（UGC）在现代网络环境中已经成为了一个显著的趋势。作为 UGC 内容的重要组成部分，鬼畜视频作为一种新兴的网络亚文化，在 Bilibili 动画网站上受到众多年轻人的喜爱。这种文化现象的兴起不仅仅是技术进步的产物，更是网络用户创造力和文化表达方式的新篇章。鬼畜视频的出现，在逐渐被主流社会所认知的过程中，不可避免地引发了亚文化与主流文化之间的相互作用和冲突。为了使鬼畜视频更好地融入主流文化，避免潜在的文化冲突，我们需要深入理解其本质和传播机制。在这方面，符号学理论提供了一个强有力的分析工具，帮助我们更深刻地理解鬼畜视频的内在逻辑和文化意义。</p> <p>本文选择 Bilibili 动画网站上的鬼畜视频作为研究对象，运用符号学的分析方法探讨了鬼畜视频的普遍性原则和特有特性。文章的第一部分聚焦于鬼畜视频的核心特征，对其独特的风格和表现形式进行了细致的认知定位。第二部分则深入探讨鬼畜视频的构成元素，揭示了人物、音响和文字符号如何交织成为一个统一的表达体系。在第三部分中，文章借助索绪尔的聚合与组合理论，分析了鬼畜视频结构的纵横关系，即通过人物和剧情的戏仿（聚合轴）与画面与音频的创意拼贴（组合轴）构成的独特表达形式。第四部分则从麦茨的电影符号学理论出发，深入探讨了观众如何通过“想象的能指”来解读鬼畜视频，进而理解其丰富的表意方式。第五部分讨论了鬼畜视频的内容传播和意义演变，特别是弹幕机制如何为鬼畜视频注入持续的活力和创新动力。最后，第六部分则反思了鬼畜视频作为一种亚文化在当代社会中可能带来的风险和挑战，同时探索了如何更好地理解 and 引导这种文化现象，以促进其积极的社会融合。</p>			